

VALUE POINTER

SCAT研究奨励金を受けて

今回は平成20年度SCAT研究奨励金採用の、今野 佳祐さんをご紹介します。

今野さんは、平成24年3月東北大学大学院工学研究科電気・通信工学専攻博士課程を修了、博士号を取得、現在は同大学大学院工学研究科通信工学専攻で助教として活躍されています。

Q. 在学時は何の研究をされていましたか

在学時は、大規模アンテナの数値解析法に関する研究を行っていました。アンテナの周囲に何も無い場合、アンテナの特性はその形状で決まります。一方で、アンテナの周囲に金属や誘電体などがある場合、電気的な結合のために、アンテナの特性は大きな影響を受けます。従って、アンテナを複数並べたアンテナ(アレーアンテナと呼びます。)や、人体をはじめとする誘電体近傍におけるアンテナの特性を正確に数値解析するためには、アンテナと周囲の物体をまとめて扱う必要があります。しかしながら、アンテナやその周囲にある物体が波長に比べて大きくなると、数値解析に必要な計算時間や計算機メモリが莫大になってしまいます。そこで、私は大規模なアンテナを高速かつ省メモリに数値解析することができるよう、様々な手法に関して研究を行ってきました。

Q. 研究奨励金を受けて良かったことなどお聞かせください

博士後期課程ともなれば、年齢的には社会人と変わりませんので、金銭的に自立する見込みがなければ進学を断念しようと思っていました。そんな折に、SCATの研究奨励金を受給することができ、進学を諦めずに済みました。継続的に研究奨励金が頂けたことで、親への負担をかけることも、アルバイトをするための時間を捻出する必要もなく、自分の研究に集中することができました。とても感謝しております。

Q. 現在の仕事を志望されたきっかけは

企業では重要だとされる、利益や実用性といった視野に立った研究よりも、新規性や面白さといった、どちらかと言えば大学で重んじられる視野に立った研究の方が自分に向いていると思ったことがきっかけの一つです。また、未来の日本を担う学生たちの教育に、直接携われる職業であったこともきっかけの一つです。



今野 佳祐さん

Keisuke Konno

東北大学大学院工学研究科
通信工学専攻 助教

モットー：何事にもこだわらないこと。

〈略歴〉

平成21年3月:

東北大学大学院工学研究科
電気・通信工学専攻 博士前期課程修了

平成24年3月:

東北大学大学院工学研究科
電気・通信工学専攻 博士後期課程修了

同年4月:

東北大学大学院工学研究科
通信工学専攻 助教

Q. 現在の仕事についてお聞かせください

一人の研究者としては、新しい研究テーマを探し、成果が得られた内容について論文を執筆するという研究活動をしています。その一方で、教員として学生の研究へのアドバイスを行ったり、教育活動にも従事しています。

Q. 現在の仕事の魅力は何ですか

電磁波という、整然とした論理に支えられた物理現象に関する研究の一端に携わることが大きな魅力です。また、当研究室は八木秀次博士による八木アンテナの発明に端を発する非常に伝統のある研究室です。伝統の担い手の一人として働けるということも大きな魅力の一つです。

Q. 現在の仕事で苦勞されていることはありますか

アンテナや電磁波というクラシックな研究分野ですので、新しい研究テーマを考えるのに苦勞します。また、目に見えない電磁波の振る舞いを理解するためには、電磁波

を支配する方程式に慣れることが重要なのですが、最近は数学が得意な学生が極端に減っており、学生に如何にして数式への興味を持たせるかに頭を悩ませています。

Q. 今、興味もっていることや趣味などお聞かせください

研究面では、学生時代の研究テーマである電磁界数値解析法以外にも、波源位置推定法やアンテナ設計法、デジタル無線通信方式などに興味があります。研究以外では、政治・経済的な問題、教育問題などに興味があります。また、趣味はランニングと読書です。

Q. 将来の目標についてお聞かせください

本質を見抜く洞察力と、正しさを見極めるための論理性を持った研究者であると同時に、何事にも一家言持っているような、一廉の人物になりたいと思います。